

バルセロナのレンタサイクル

スペイン・カタルーニャ地方の州都バルセロナは、地中海に面し年間を通じて温暖で雨が少ないため自転車には最適の場所といえる。人口は 150 万人、世界各国から観光客が訪れ、1992 年のオリンピック開催を経て、経済面でも現在スペインで最も活気ある都市と言われる。そのバルセロナの公共交通として自転車に焦点が当てられた。

1. 新しい公共交通システム「Bicing」

バルセロナ市は、昨年 10 月に 3,000 台の自転車を市内で利用できるレンタサイクル計画を発表していたが、そのレンタサイクル「Bicing」が 2007 年 4 月から運用を開始した。

鉄道、地下鉄駅付近等の交通要所に貸出所を設置予定であるが、まず手始めに 2007 年 3 月 22 日から貸出場所 14 ヶ所、貸自転車 200 台が設置された。そして 2007 年 5 月には 50 ヶ所 750 台、7 月には 100 ヶ所 1,500 台を増設、最終的に 250 ヶ所 3,000 台を設置する予定である。

自転車の利用希望者は、Bicing のウェブサイト上で会員登録を行い、登録完了後に会員カードが自宅に送付される。料金は、週間会員（料金 1 ユーロ）と年間会員（同 24 ユーロ）があり、2007 年 7 月 6 日までは、年間会員が 6 ユーロで登録できる。利用料金は 30 分までは無料で、60 分以降から 30 分単位で 30 セントが課金され、料金には保険料も含まれている。利用料金は、会員登録時に登録したクレジットカードから支払われる。



凱旋門前の貸出所



フランサ駅前の貸出所

貸出用の自転車はミニサイクルタイプで、白と赤のカラーリングが鮮やかなオリジナル仕様である。ハンドルとライト等と一体となった独自のロックシステムにより、専用ラックに固定される仕組みである。貸出所は無人のため利用者は会員カードを持参し、専用端末にカードを通し暗証番号を入力することで自転車の貸出・返却を行う。また盗難防止対策として自転車には GPS が搭載されている。

訪問した当日は生憎の雨模様で、週末ということもあり実際の利用者の姿は見かけなかった。これらの自転車は観光客用ではないものの、凱旋門を挟んで左右の貸出所に合計 40 台近い真新しい自転車が並ぶ姿は壮観であり、行き交う人々からも注目を浴びていた。但し屋根

が無い露天に駐輪しているため、今は新車でも汚れや錆びにより車両の傷みが早いのではないかという懸念もあるが、この地域の気候であればあまり問題もない。このような比較的簡便な無人の設備であれば、従来の駐車スペースや路肩等を転用すれば容易に設置できる。そうでなければ短期間で100ヶ所以上も設置することは難しい。



自転車固定方法（ハンドル前方部分をラックに固定する）



会員カード用端末



近隣ポイント案内図

現在、バルセロナ市では外出時に40,000人が自転車を利用しているといわれ、この新しいレンタサイクルシステムにより自転車利用者の増加を目指している。将来的にはこのBicingを観光客も利用できるようにする計画である。そうなれば「公共交通」と「観光」の2つの面で自転車が大いに活躍することになる。このレンタサイクルが成功を収めるか今後注目していきたい。

2. その他レンタサイクル

バルセロナは観光地としても有名であるため、観光客向けのレンタサイクルもいくつか見られた。「BARCELONA BICI」は市内3ヶ所で貸し出ている。車種は折りたたみ車（モンティ）とシティ車（デュカスロン）であった。料金は1時間4.50ユーロ、4時間で11ユーロ、8時間15ユーロ、2日21ユーロ及び1週間56ユーロである。



BARCELONA BICI 受付



BARCELONA BICI 貸出車

市内にはこの他にも民間のレンタサイクルがいくつかあり、街中で広告塔代わりの自転車に名刺大の宣伝ビラがいくつもぶら下がった光景を見かけた。概ね料金は、1時間3ユーロ、4時間で10ユーロ、24時間15ユーロ、2日で25ユーロといったところである。更に観光地ではおなじみのベロタクシーも見かけたが、こちらはツアー1回で6ユーロであった。



民間レンタサイクルの広告

デュッセルドルフ事務所